

週刊 タバコの正体

一旦ニコチン依存症になってしまうと、毎日来る日も来る日もタバコを吸わずにられません。だから、喫煙者は頻繁にタバコを購入しなければなりません。いったいタバコっていくらするか知っていますか。沢山の種類があって値段もいろいろなのですが、だいたい20本入りで450円ぐらいです。一日20本吸う人なら、毎日450円をタバコ代に充てなければなりません。すると1ヶ月で約13,500円、1年365日で164,250円が必要です。さらに10年吸い続けると160万円以上、30年吸い続けると500万円近く、タバコ代に使う計算になります。

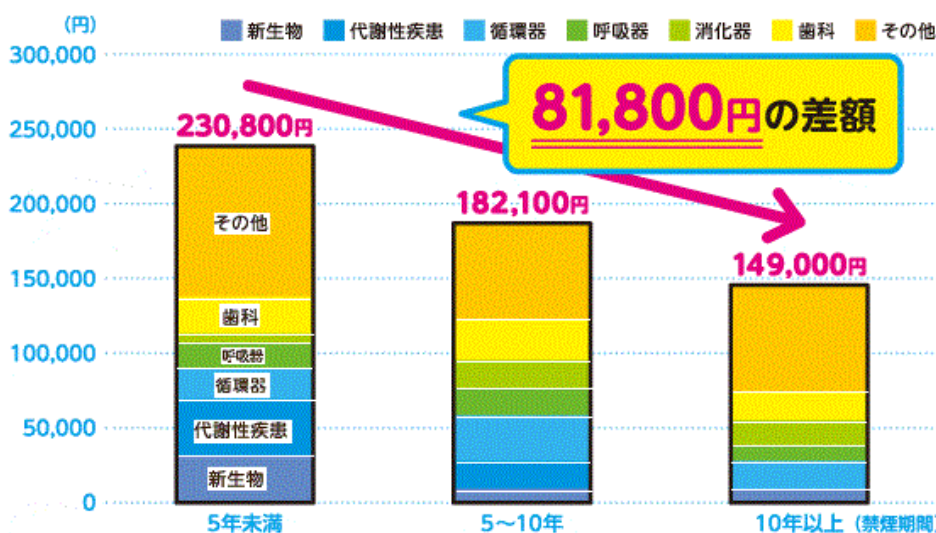
一本あたりにすると20円ぐらいのようですが、毎日ですから長年吸い続けると相当な額になります。そんな大金を払って何か良い事があるかと言うと、全くありません。それどころか30年も吸い続けられれば、タバコが原因で病気になる人が多発します。まるで病気になるために500万円を使うようなものです。



そして、病気になってしまつとその治療にお金がかかります。その様子を示したのが下の図なのですが、早く禁煙した人ほど年間の医療費が安くなるというグラフです。

「タバコを吸い始めなければタバコ代も医療費もいらないうのに・・・」と思わずにられません。

禁煙した人の年間医療費



この事情を知っていれば、わざわざタバコを吸い始める人はいないでしょうが、知らずに吸い始めてしまうと、もったいない費用が発生します。

タバコは吸い始めるべきではありませんよね。

産業デザイン科
奥田 恭久

※ 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)分担研究報告書
職域における効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度に関する研究(平成18年度)